



# の がき 野垣あきこまちづくりカフェ

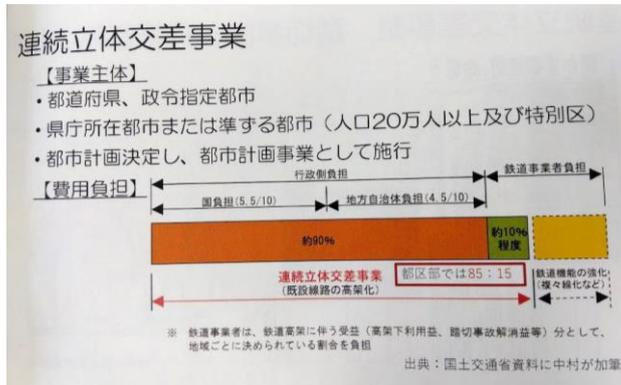
子ども・くらし・平和



2024年9月25日 No.198 連絡先 090-9293-8710 ご相談もどうぞ!

## 下井草まちづくりラボ

# 区が鉄道連続立体交差化の勉強会 住民の関心高まる



### ▲当日の中村教授の資料より

杉並区は21日に第4回下井草まちづくりラボを開催し、鉄道連続立体交差化事業とまちづくりに関する勉強会を行いました。

**地下化・高架化でどう変わる？専門家から情報提供**

始めに、これまでの取組で狭くて危険な旧早稲田通りの問題が明らかになったこと、駅周辺や商店街への意見が多数出されたことなどが報告されました。

**西武線の鉄道連立の講義**

次に、日大理工学部の中村英夫教授から鉄道連続立体交差化事業の概要や施工方法、事業の流れなどの説明がありました。中村教授は東京都の事業評価委員（都の事業の内容及び対応方針の案について、意見及び助言

また、小田急線下北沢駅周辺の地下化で線路跡地を区や民間が整備した事例も紹介されました。

**下井草のまちづくりの講義**

以前よりこの取組に関わってきた日大理工学部の関文夫教授は、模型とカメラを使って地下化・高架化後の下井草駅周辺の空間や線路跡地の土地活用のイメージなどを紹介しました。

地下化になった場合は駅舎を東側に移動して空間が確保できるとの説明もありました。

### 参加者からは質問が続々と

講義の後、参加者からは意見や質問が次々に出されました。

地下・高架の構造形式はどう決まるのか？との質問には、総合的判断だが国の補助金は安い方の事業費を補助対象限度額とするのが原則。ただし、妥当性が認め

### 参加者から出された意見

- ・高架化前提の説明になっていた
- ・立ち退きなど影響を受ける人のことを考えると、お金の問題ではなく地下化が良い
- ・鉄道連続立体交差化と一緒に再開発があると住民の意見より経済効果が重視。新自由主義的思考を崩すのは区民の運動。身近な住みよいまちづくりをしたい
- ・地下、高架にせず今のままという選択肢

られる場合は地下構造の事業費を補助対象額とすることが可能、との回答でした。

環境に対する行政の対応として環境影響評価の制度の説明や、工事期間や影響についても質問が出され、他区間では地下化の方が短期だったことなども説明されました。

当日は全ての質問に回答する時間がなく、残りは書面で回答するとのことでした。

行政や専門家から具体的な説明がされたことで、どのようにまちが変化するかイメージが湧き、住民の関心が大変高まっていたことが感じられました。

# 区が（仮称）「ジェンダー平等に関する審議会」の設置へ

9月3日、岸本聡子区長は記者会見を開き、第3回区議会定例会に提案する補正予算（第4号）等の概要を発表しました。  
**ジェンダー平等に関する条例 杉並区でも制定へ**

今議会に「（仮称）ジェンダー平等に関する審議会」を設置する議案が提出されています。

ジェンダー平等を進める条例制定を視野に、有識者や区民ら12人以内で構成し、来年秋ごろまでに答申を出す予定で、補正予算には、審議会設置に伴う費用も盛り込まれました。

審議会を設置することについて岸本区長は「区の『男女共同参画行動計画』の次期改定もある。

今の時代に合わせアップデートしていきたい」と話しました。

## 防災マップを全戸配布

防災分野では「大地震に備えて」防災への備えキャンペーン」として、広報すぎなみ9月・10月号に防災特集が組まれるほか、来年1月1日号の広報すぎなみで、最新版の「防災マップ」を全戸配布するための費用が計上されました。

防災マップの全戸配布は党区

## 記者会見で紹介された事業(一部)

- ◆防災意識の高揚 1263万円
  - ・広報9・10月号で防災特集
  - ・広報1月1日号で防災マップを全戸配布
- ◆ジェンダー平等に関する審議会の運営に係る経費 93万円
  - ・審議会委員報酬、託児保育委託、会議録作成委託など

## ◆旧杉並中継所跡地の活用 384万円

旧杉並中継所跡地を防災拠点として活用する。平時はアーバンスポーツ施設としての活用を検討。整備に向けた調査等業務委託費。



## 子どもの権利保障 居場所づくりの取組を推進

議団も求めてきたことです。

今議会では、補正予算のほか、子どもの権利に関する条例の骨子案や「子どもの居場所づくり基本方針」素案も報告され、審議されています。区民や子ども向けのオープンハウスも開催予定です。

日本共産党区議団は、長期化する物価高騰から区民の暮らしを守るとともに、福祉や教育の拡充、区民参加の区政をさらに前に進めるために全力を尽くします。

## 弁護士による法律相談

毎週 水・金曜 2～4時半

会場 日本共産党杉並地区委員会

高円寺南3-30-12

電話 03-3314-5551

※予約は必要ありません。当日現地です。



猛暑続きから解放され、朝晩はだいぶ涼しくなりました。しかし、豪雨被害が各地で発生しています。特に能登半島での被害が深刻です。洪水や土砂崩れによる行方不明者や孤立集落、やっと入れた仮設住宅が床上浸水に：被災者は再び避難所に移動したとの報道に、私たちは言葉を失うような状況でした。

能登はこれまで豪雨災害は少なかったのだそうですが、地震で地盤が緩んだところに100

## あきりの部屋

年に一度と言われる豪雨で被害がここまで。温暖化による異常気象の上、進まない復興が輪をかけて被災者から生きる力を奪う状況となっています。

基地の強化やミサイルの購入に43兆円を費やし、万博の追加予算もすぐに決まるのに、なぜ災害で苦しむ国民が救われないのか？解散総選挙で自民党政治を変えるしか道はありません。そのためにも日本共産党を大きく伸ばしてください。